

平成 30 年度

事業報告書並びに収支計算書及び
貸借対照表、
正味財産増減計算書、財産目録

公益目的事業 1

駿府博物館の展覧会事業及び教育普及事業

A. 展覧会事業

1. 特別展 金澤翔子書作展『感謝』

- 主 催 駿府博物館、静岡新聞社・静岡放送
後 援 静岡県教育委員会、静岡市教育委員会
■会 期 2018年6月24日(日)～9月2日(日)[61日間]

※会期中、一部展示替えを行った。

前期：6月24日(日)～7月29日(日)

後期：7月31日(火)～9月2日(日)

- 開館時間 午前10時～午後5時30分(入館は午後5時まで)
■休館日 月曜日(※7月16日は開館し翌日休館)
■会場 駿府博物館(静岡市駿河区登呂3-1-1 静岡新聞放送別館2階)
■入館料 《当日券のみ》高校生以上800円 中学生以下・障害者手帳ご提示の方は無料
■内 容

金澤翔子は1985年、東京に生まれます。生まれてすぐにダウン症と診断されますが、5歳から母・泰子の師事で書を始めます。20歳の時、銀座の画廊で初の個展「翔子 書の世界」を開催。その後、鎌倉建長寺、京都建仁寺で毎年個展、奈良東大寺で揮毫・奉納、個展。福島に「金澤翔子美術館」を開設と、各所で成功を収めます。2012年、NHK大河ドラマ「平清盛」の題字を揮毫。銀座に「銀座金澤翔子美術館」を開設。平泉中尊寺で揮毫・奉納、個展。熊野大社、厳島神社で揮毫・奉納。2013年、国体の開会式で揮毫。天皇の御製を揮毫。そして当駿府博物館で個展「絆」を開催しました。

2015年30歳には、国連本部でスピーチ、ニューヨーク・チェコ等で個展、京都に「シナリー金澤翔子美術館」開設など、その活躍はとどまるところを知りません。

本展は「絆」からはや5年。障害を持ちながらも書の道を歩み、母とともに人々に感動を与え続けている金澤翔子の書作品を、33歳となった大人の女性としてあらたな作品を交え、展示しました。

■関連イベント

●金澤翔子 揮毫会・金澤泰子 講演会

日 時 ①7月28日(土)②8月19日(日)

会 場 ①静岡市立南部小学校 体育館②静岡新聞放送会館4階会議室

参加費 500円(2回とも参加する場合、その内の1回分を200円とする割引をした。)

内 容 金澤翔子氏による席上揮毫と、母・泰子の講演会。

参加者：有料 255人、無料 76人、合計 331人

入館者 有料：3,537人 無料：1,023人 合計：4,560人

2. 企画展 大谷青嵐氏コレクション展「中国文房至宝展」

- 主 催 駿府博物館
後 援 静岡県教育委員会、静岡市教育委員会、静岡新聞社・静岡放送
- 会 期 2018年10月20日(土)~12月16日(日)[50日間]
■開館時間 午前10時~午後5時(入館は午後4時30分まで)
■休 館 日 月曜日
■会 場 駿府博物館(静岡市駿河区登呂3-1-1 静岡 新聞放送別館2階)
■入 館 料 《当日券のみ》高校生以上500円 中学生以下・障害者手帳ご提示の方は無料
■内 容

静岡県書道連盟 顧問 大谷青嵐氏が、48年間130回の訪問の中で中国との友好を通じて収集(蒐集)した書画、文房至宝のうち、今回文房至宝について厳選し、古硯、古墨、古印材、古紙、文房飾りなどを中心に展示しました。宋の徽宗帝(きそうてい)、清の康熙帝(こうきてい)、乾隆帝(けんりゅうてい)等、文房至宝を愛し、文化を築いた歴史の一端をご覧いただくことのできた展覧会です。

■関連イベント

●特別ギャラリートーク

- 解 説 大谷青嵐氏(静岡県書道連盟副会長)
日 時 10月27日(土)、12月1日(土) 両日とも午後2時から(40-60分程度)
会 場 展示室内
参 加 費 無料(※入館料のみ)
内 容 大谷青嵐氏本人によるギャラリートーク。

参加者:合計 65 人(2回実施)

●篆刻ワークショップ

- 解 説 大谷青嵐氏(静岡県書道連盟副会長)
日 時 11月10日(土)、11月24日(土) 両日とも午後2時から(40-60分程度)
会 場 静岡 新聞放送会館4階会議室
参 加 費 500円
内 容 大谷青嵐氏本人の指導の下、参加者は自分の氏名から漢字一字を選ばれ、篆刻を体験する。
世界で一つのオリジナルの印を作成するワークショップ。

入 館 者 合計:40 人(2回実施)

入 館 者 有料:437 人 無料:130 人 合計:567 人

3. 企画展 静岡の版画—それぞれの「今」VOL. 1

- 主 催 駿府博物館
後 援 静岡県教育委員会、静岡市教育委員会、静岡県版画協会、静岡新聞社・静岡放送
- 会 期 2019年1月19日(土)~3月10日(日)[44日間]
■開館時間 午前10時~午後5時(入館は午後4時30分まで)
■休 館 日 月曜日(※2月11日は開館し、翌日休館)
■会 場 駿府博物館(静岡市駿河区登呂3-1-1 静岡 新聞放送会館別館2階)

■観覧料 高校生以上 500円 中学生以下・障害者手帳ご提示の方は無料

■内 容

静岡県の版画は、1929年に自画自刻自摺りの創作版画集団「童土社」が設立されて以来、現在まで版画活動が活発的に行われてきました。駿府博物館では伝統ある静岡県の版画作品を末永く収蔵保管すると共に、作家を顕彰し後世に伝えていくことを目的に、2001年以来、版画作品の収集を実施し、県内在住作家の多大なご協力をいただきました。

また、版画の普及と啓蒙を図り、地域文化の向上に寄与するため企画展を開催してきました。博物館の移転リニューアル以降、初の企画展としてこの度、『静岡の版画—それぞれの「今」』をテーマに、寄贈 20 作家にご出品いただき、2019・2020年の2期に分けて開催することになりました。

本展は、県版画界で今ますます第一線で活躍する寄贈作家に改めて焦点をあて、過去に寄贈を受けた作品と最近作とを展示し、それぞれの作家の方向性と県版画の現状と課題を示すことを目的に開催いたしました。

2019年VOL.1 招待10作家(敬称略・順不同)

青木鐵夫 伊東槩特 浦田周社 杉山英雄 西貝和子
林 和一 前田光一 牧野宗則 三村博司 柳沢紀子

■関連イベント

●特別ギャラリートーク

日 時 2月2日(土) 午後2時から(1時間30分程度)

会 場 展示室

講 師 青木鐵夫 浦田周社 前田光一

参加費 無料(※入館料のみ)

内 容 作家本人によるギャラリートーク。

参加者:合計 27人

●松山龍雄講演会

日 時 2月24日(日) 午後2時から

会 場 静岡 新聞放送会館4階会議室

講 師 松山龍雄(「版画芸術」編集主幹)

参加費 500円

内 容

「版画芸術」編集主幹・松山龍雄氏による講演会。浮世絵版画から創作版画、現代版画までの展開と今後についてお話いただきました。

参加者:合計 40人

入館者 有料:432人 無料:209人 合計:641人

4. 第 42 回蘇峰会静岡県書道展

- 主 催 駿府博物館(公益財団法人 静岡新聞・静岡放送文化福祉事業団)
共 催 公益財団法人蘇峰会、静岡新聞社・静岡放送
後 援 静岡県、静岡県教育委員会、静岡市、静岡市教育委員会、静岡県書道連盟
■会 期 3月13日(水)~3月24日(日)[11日間]

※会期中、大幅な展示替えを行った。

前期:3月13日(水)~3月17日(日)

徳富蘇峰賞、静岡県知事賞、静岡市長賞、幼稚園・小学生の作品を展示

後期:3月19日(土)~3月24日(日)

徳富蘇峰賞、静岡県知事賞、静岡市長賞、中・高校生、一般の作品を展示

- 開館時間 午前9時30分~午後5時(入館は午後4時30分まで)
■休 館 日 3月18日(月)
■会 場 駿府博物館(静岡市駿河区登呂3-1-1 静岡 新聞放送会館別館2階)
■入 館 料 無料
■内 容

徳富蘇峰の顕彰と書道の発展・普及を目的に開催。応募の中から、最高賞の「徳富蘇峰賞」を含む大賞、優秀賞を展示した。

入 館 者 無料:548人

平成30年度 展 覧 会 入 館 者	有料	4,406人 (1,970人)	無料	1,910人 (1,254人)	合計	6,316人 (3,224人)
--------------------------	----	--------------------	----	--------------------	----	--------------------

※ () 内は平成29年度実績

B. 教育普及活動

1. 第15回駿府博物館短期歴史講座

静岡県の近代史研究シリーズ第6弾「終戦からの復興」

- 主 催 駿府博物館
■協 力 静岡県近代史研究会
■会 場 静岡 新聞放送会館4階会議室(静岡市駿河区登呂3-1-1)
■受 講 料 一般5,000円 大学生・大学院生3,000円 高校生2,000円
(全4回分、税込、資料代含む)
■募集人数 50名
■受講者数 40名
■内 容 学校やカルチャースクールなどではなかなか学ぶ機会が少ない静岡県の近現代史。2013年から静岡県近代史研究会にご協力をいただき、静岡の近現代はどのような姿であったのか、最新の地域史研究を交え、広く県民が学べる機会を提供した。第2次大戦終戦から復興期の静岡県の政治、産業、教育、文化、思想などをテーマに4回にわたって、専門家が講義した。

■日時・講師・テーマ

【第1回】2019年1月27日(日)13:30-15:30

「一農村から見た戦中・戦後」

講師 静岡県近代史研究会幹事 小池善之氏

【第2回】2019年2月3日(日)13:30-15:30

「敗戦と復興」

講師 静岡県立大国際関係学部国際関係学科教授 森山優氏

【第3回】2019年2月10日(日)13:30-15:30

「郷土部隊の復員」

講師 静岡県近代史研究会幹事、掛川東高等学校教諭 村瀬隆彦氏

【第4回】2019年2月17日(日)13:30-15:30

「働いと感動の満州引揚げ-開拓団を中心に」

講師 静岡女性史研究会代表、静岡県近代史研究会幹事 大塚佐枝美氏

延べ参加者数：138人（1回36人、2回34人、3回34人、4回34人）

◇平成30年度博物館利用者数 6,957人

事項	有料	無料	合計	備考
展覧会入館者数	4,406	1,910	6,316	4展覧会
講座参加者数	138	0	138	1講座4回
イベント参加者数	335	168	503	3イベント8回
博物館利用者数総計			6,957	

公益目的事業 2

社会福祉事業及び災害救援活動への助成及び支援

A. 社会福祉事業への助成及び支援

「第56回愛の都市訪問」

社会福祉事業「愛の都市訪問」を実施した。県民の皆様から寄せられた寄付金で寄贈品を購入し、県民の社会福祉に役立てた。県民のボランティアに対する理解を深め、地域福祉の応援とボランティア活動を支援するための物品を寄贈した。必要とされている物を必要としているところに届けるため、財団ホームページと静岡新聞及び静岡放送を通じて県内から広く公募し、選考委員会で審査の上、寄贈先と寄贈品を決定した。

1. 寄付金 総額 13,804,936 円 29年度繰越金 4,980,520 円 合計 18,785,456 円
2. 寄贈団体 車両・・・5 団体 資機材・・・4 団体
3. 助成金額 合計 10,167,804 円
4. 繰越金 合計 8,617,652 円

B. 災害救援活動への助成支援

「西日本豪雨災害義援金」

平成 30 年 7 月に発生した、西日本の豪雨災害に対する義援金の受け付けを行い、全額を日本赤十字社静岡県支部に寄付した。

義援金 1,804 件 総額 91,267,009 円

公益目的事業 3

地域のために献身的な活動を続ける個人及び団体の表彰

「第 8 回ふるさと貢献賞」

地域のために献身的な活動を続ける個人・団体を表彰する「ふるさと貢献賞」を実施した。表彰は「学校の部」「企業・団体の部」「個人の部」の 3 部門で行った。

表彰団体

「学校の部」	6 団体
「企業・団体の部」	7 団体
「個人の部」	5 団体

収益事業

A. 展覧会印刷物の制作・図録・グッズ販売

1. 所有物品の販売（ファイル、図録） 有料販売
2. 委託物品の販売（はがき、書籍、カレンダー等） 有料販売

館内業務

1. 職員の異動

平成 30 年 8 月 1 日、中村恭子が本社より異動。平成 30 年 9 月 30 日、石田雄二が退職した。

平成 31 年 3 月 20 日、事務局次長の杉山和寿が本社に異動した。平成 31 年 3 月 31 日、中村恭子が退職した。

2. 所蔵品の修理

(株)墨仁堂(静岡県葵区大岩 1-4-4)に依頼し、以下の作品の修理を行った。

- ・木村武山「滝見観音」
- ・結城素明「山村の初夏」「紅葉」「夏景晴嵐」
- ・児玉希望「初夏」
- ・鏑木清方「山姥・金太郎」
- ・下村観山「草廬三顧」
- ・近藤浩一路「林檎の秋」

- ・川端玉章「春江愛鶴・秋溪観瀑」
- ・沖六鵬「鷺堂先生加朱六鳳二行」
- ・今川氏眞「今川家朱印状」
- ・松平定信「日月忠孝」
- ・田中頼璋「夏景山水図」
- ・三木翠山「深園の月」
- ・伊藤小坡「虫壳（双幅）」
- ・平福百穂「三清友」
- ・橋本関雪「墨竹」
- ・中村岳陵「竹」
- ・川合玉堂「桜に小禽図」

以上 19 作品

館外業務

1. 作品の貸与・出品

- 1) 貸出先 浜松市秋野不矩美術館
 作品 秋野不矩「壁を塗る」
 貸出品 作品
 使用目的 浜松市秋野不矩美術館、田辺市美術館、静岡新聞社・静岡放送が主催・共催する特別展「秋野不矩—あふれる生命(いのち)の輝き」で展示。
 貸出料 無料
 貸与期間 2018年10月16日—2019年4月14日

2. 写真撮影及び掲載等

- 1) 貸出先 静岡放送株式会社
 作品 土佐光成「駿府鳥瞰図」
 貸出品 写真(PDF)
 使用目的 番組「イブアイしずおかエンタ」内コーナー『歴史バラエティ しぞ〜か渡り鳥』映像内で使用。
 貸出料 無料
 貸与期間 2018年5月9日
- 2) 貸出先 (株)SBSメディアビジョン
 作品 土佐光成「駿府鳥瞰図」
 貸出品 写真(PDF)

使用目的 「平成 30 年度観文歴委 12 号 歴史文化施設展示資料制作過程映像記録業務(徳川家康所用甲冑)」事業で制作した『徳川家康所用甲冑の復元模造品製作映像記録』内で使用。

貸出料 10,800 円(税込)

貸与期間 2018 年 5 月 30 日～6 月 7 日

3. 契約継続事項

1. (株)江崎新聞店と静岡新聞セット購読契約 (平成 26 年 8 月 1 日～)
2. 総合警備保障(株)と機械警備契約 (平成 26 年 12 月 24 日～)
3. 総合警備保障(株)と警備機械リース契約 (平成 27 年 1 月 2 日～)
4. リコーリース(株)とコピー機のリース契約 (平成 27 年 1 月 1 日～)
5. 静岡放送(株)と事務所及び展示室の賃貸契約 (平成 27 年 1 月 1 日～)
6. ユニー(株)アピタ静岡と駿府博物館展覧会チケット販売業務委託 (平成 27 年 1 月 1 日～)
7. (株)ケイエムアドシステムと静鉄バスの車内アナウンス契約 (平成 27 年 1 月 1 日～)
8. 杉山明喜雄公認会計事務所と会計顧問契約 (平成 27 年 7 月～)
9. 杉山明喜雄公認会計士事務所と TKC 会計システム FX2 のリース契約 (平成 27 年 7 月～)
10. クマリフト(株)と階段昇降機保守点検作業契約 (平成 28 年 9 月 1 日～)
11. 如水会とカレンダー「禅の心」の販売委託契約 (平成 30 年 9 月～平成 31 年 1 月まで)
12. (株)静岡日立と空調設備保守点検作業契約 (平成 30 年 8 月 1 日～)

事業報告の付属明細書

該当事項、ありません。